

駒澤大学との連携によるACP啓発事業の実施について

1. 主旨

区が令和5年度、駒澤大学との連携により実施しているACP啓発事業について報告する。本事業は、駒澤大学が駒大生社会連携プロジェクトの一環として実施されている事業である。駒澤大学経営学部市場戦略学科の学生がACP啓発用ポスターを制作し、ゼミナール内で選抜された21作品について、学内投票を実施するとともに、区が9月16日に開催した在宅療養講演会・シンポジウム会場にて展示し、参加者等による投票を実施した。区では、今回の投票で上位に選ばれた作品より3作品を区の啓発用ポスターとして採用し、ACPの周知・普及に活用していく。

2. 内容

令和5年度駒大生社会連携プロジェクト

「世田谷区ACP普及啓発のためのデザイン」

(1) 目的

人生の終末期にどのような治療やケアを望むのかを身近な人と繰り返し話し合い、区民自らが決定していくACP(人生会議)について、学生に学ぶ機会を提供するとともに、本課題になじみが薄い学生の目線から啓発用ポスターを作成することにより、より広く区民に周知・普及していくことを目的とする。

(2) 連携先

駒澤大学経営学部市場戦略学科 小野瀬拓 教授

及び小野瀬拓ゼミナール2、3年生 31人

(3) 作品選定

区ポスター採用数

全21作品の中から3作品を選定

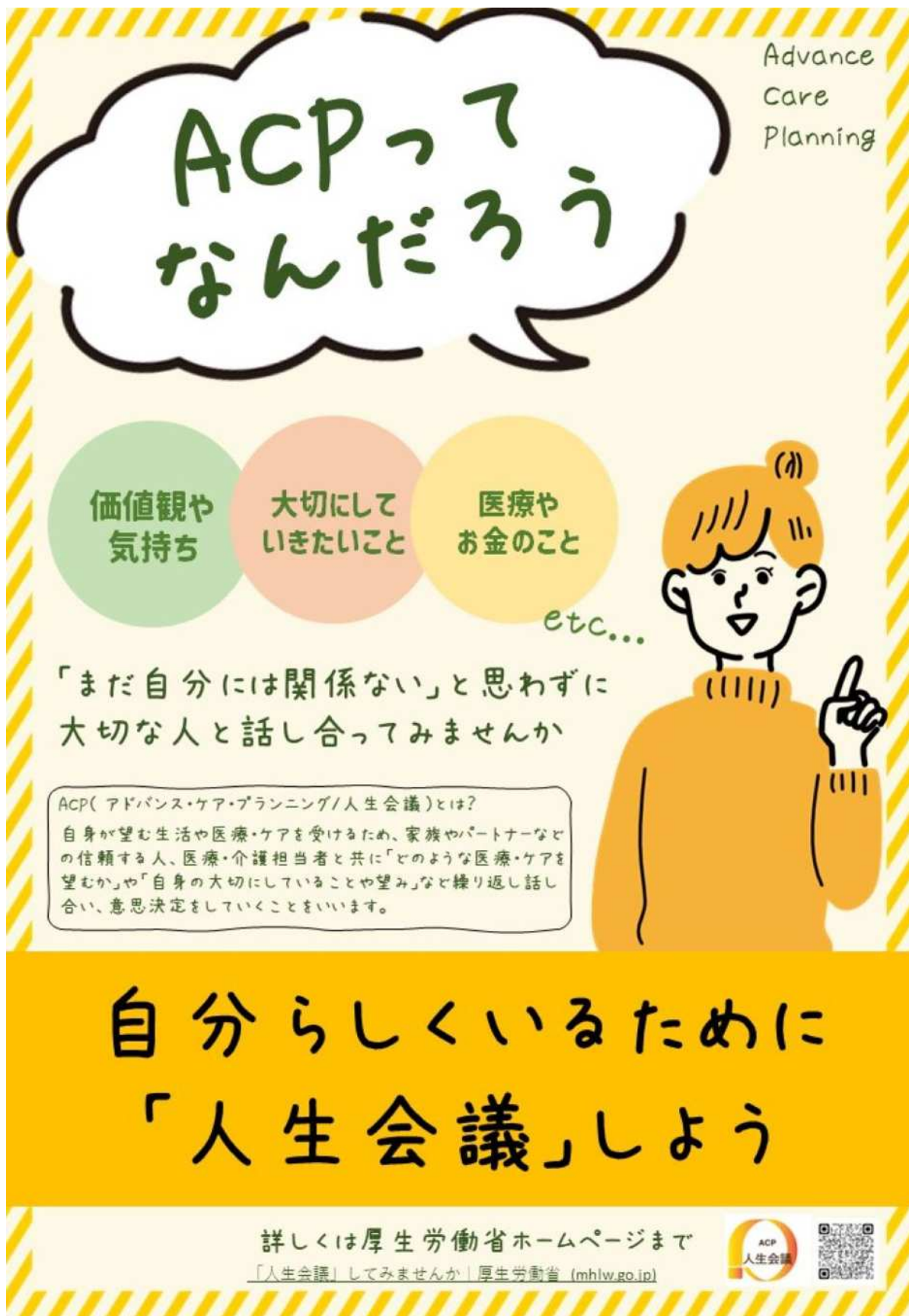
選定方法

- ・小野瀬拓ゼミナールの学生が制作した全31作品の中から、ゼミナール内選抜にて、展示用21作品を選抜
- ・選抜された21作品を駒澤大学駒沢キャンパス構内及び在宅療養講演会・シンポジウム会場にて展示し、投票用紙及びWEBにて投票を実施
(投票件数 計110票)
- ・上記にて絞られた候補作品(上位7作品)の中から3作品を選定

(4) これまでの経過及び今後のスケジュール (予定)

令和5年 3月	区民健康村・ふるさと・交流推進課より、保健医療福祉推進課へ駒大生社会連携プロジェクトへの協力依頼 駒澤大学経営学部 小野瀬拓教授との打ち合わせ
5月	小野瀬拓ゼミナールにて、桜新町アーバンクリニック在宅診療部診療部長五味一英先生による学生向け講義を実施
6～8月	学生によるポスター制作・完成、ゼミナール内選抜 (21 作品)
9月	9/1～9/20 大学構内掲示及びWEB投票 9/16 在宅療養講演会・シンポジウムでのポスター展示・投票
10月	区ポスター採用作品の選定
11月	医療・介護連携推進協議会にて採用作品の報告・決定
12月	ポスター印刷発注・完成・納品
令和6年 2月～	区ポスターの掲示

3 . 最終選定 (採用) 作品
別紙のとおり (3 作品)



Advance
Care
Planning

ACPって
なんだろう

価値観や
気持ち

大切にしてい
きたいこと

医療や
お金のこと



etc...

「まだ自分には関係ない」と思わずに
大切な人と話し合ってみませんか

ACP(アドバンス・ケア・プランニング/人生会議)とは?
自身が望む生活や医療・ケアを受けるため、家族やパートナーなどの信頼する人、医療・介護担当者と共に「どのような医療・ケアを望むか」や「自身の大切にしていることや望み」など繰り返し話し合い、意思決定をしていくことをいいます。

自分らしくいるために
「人生会議」しよう

詳しくは厚生労働省ホームページまで
「人生会議」してみませんか | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)



アドバンス・ケア・プランニング

ACP

ってなんだろう？



「人生会議」してみませんか

自分らしく生きたい。病気があっても家で暮らしたい。

「もしもの時」にそなえて、自身が望む治療やケアを家族や医療ケアチーム、信頼できる人に相談しませんか？

世田谷区 厚労省

詳しい情報は各ホームページまで



今日、 明日のために 人生会議しませんか？

出来るだけ
仕事は続け
たいなあ…

家族で過ごす
時間を長く
とりたいなあ。

大好きなお花
いっぱい
生活がしたい！

ずっとパパと
ママといたい！

子供たちの
幸せが一番。
手料理をずっと
食べて欲しい
から、今のうち
から家族で
たくさん料理を
しようかな。



家族のためにお金は
残しておきたいなあ。

もしものときは家族に
迷惑をかけたくないなあ。
延命治療はしたくないなあ。

大切な人の本当の思い知っていますか？
「もしものとき」のこと
話そう。伝えよう。